

案内

第44回日本小児臨床薬理学会学術集会

日時：10月7日(土)～8日(日)

会場：ホテルアソシア静岡(静岡市葵区)

テーマ：臨床薬理学—こども達の日常診療の中で

プログラム：特別講演①「ゲノム医学の進展と小児臨床薬理学へのインパクト」榑佳之(東京大学名誉教授・元ヒトゲノム計画日本代表・静岡雙葉学園理事長)／②「Choosing Wisely Japan—小児医療での展開」徳田安春(群生沖繩臨床研修センター長)／教育講演①「今あらためて『悪薬』タバコを考える」加治正行(静岡市保健所長)／②「先天代謝異常症領域における治療薬の安定供給上の課題」大浦敏博(仙台市立病院副院長・小児科部長)／③「僕は肝芽腫で手術・抗がん剤治療を受け、外科医になりました。」平田明裕(公立西知多総合病院外科部長・前JA静岡厚生連静岡厚生病院外科)／シンポジウム①「インフルエンザ・ワクチンの臨床薬理学—痛くなくて安全でよく効くワクチンをこども達に」／②「こどもへのカゼ薬の処方を考える—医薬分業ではなく、医薬連携を！」(小児薬物療法セミナー)／教育セミナー①中野貴司(川崎医科大学小児科教授)／②西藤成雄(西藤小児科こどもの呼吸器・アレルギークリニック院長)／③児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部教授)／④福島若葉(大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学教授)／⑤山下誠(東京大学医科学研究所ウイルス感染分野)／⑥石崎優子(関西医科大学小児科学講座准教授)／モーニングセミナー①福田剛史(シンシナティ子供病院医療センター臨床薬理学／シンシナティ大学医学部准教授)／②藤原大介(キリン株式会社事業創造部)「乳酸菌の新展開：腸管免疫賦活を介したウイルス感染防御」／③太田良雄(日立製作所多賀病院内科)

参加費：(当日登録)会員1万円、非会員1万円、大学生・大学院生3000円
※会員には抄録集を事前配布。非会員は1冊2000円で購入可

問い合わせ先：わかば学術集会支援室
〒420-0822 静岡県静岡市葵区安東3-2-27

TEL:054-297-4410

FAX:054-297-4430

E-mail:info@jsdpt2017.org

http://www.jsdpt2017.org/

案内

木村看護教育振興財団2017年度東京講演会

日時：11月11日(土)13:30～17:30

会場：新霞が関ビル 全社協・灘尾ホール(東京都千代田区)

テーマ：未来を拓く 看護の力—地域の人々の暮らしを支える医療看護介護の取組みを注目事例から学ぶ

プログラム：講演1「在宅看護企業ナースの育成と支援—地域社会のハブセンターをめざすナースを支える夢」喜多悦子(笹川記念保健協力財団会長、ジョンズホプキンス公衆衛生大学院シニア・アソシエイト、日本赤十字九州国際看護大学名誉学長)／2 Ms. Maren R. Johnson (MSM, RN, CCRN-Nurse Manager, Medical ICU, Mayo Clinic)／パネルディスカッション「地域医療看護の展開—在宅クリニック・訪問看護ステーション・看護小規模多機能の連携例、大学病院・地域医療機関間交流・支援の例」(仮)三輪恭子(よどきり医療と介護のまちづくり取締役、かんご庵・まちケア事業部部長)、遠矢純一郎(桜新町アーバンクリニック院長)、片山智栄(同クリニックナースケア・ステーション所長、ナースケア・リビング世田谷中町所長)、井川順子(京都大学医学部附属病院病院長補佐・看護部長、看護職キャリアパス支援センター長)、幸野里寿(同病院 同センター助教)、Ms. Melissa R. Bitz (DNP, APRN, AGCNS-BC-Clinical Nurse Specialist, Medical Gastroenterology and Nutrition Support Service, Mayo Clinic)、京都府看護人材交流支援事業に参加した看護職および看護管理者

参加費：無料

定員：500名

申込方法：下記ホームページより、「2017年度 東京講演会等への参加のご意向について」という申込用紙に記入し、E-mail か FAX で送信。

問い合わせ先：事務局長小澤卓矢、課長小村志津乃・中川玲子

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14

TEL:03-5800-2700

FAX:03-5800-0022

E-mail:kimura-info@nurseed.jp

http://www.nurseed.jp/

案内

第11回「看護職賠償責任保険制度」研修会

日時：11月18日(土)9:30～16:10

会場：日動火災・熊本県共同ビル(東京都中央区)

内容：訪問看護事業所・介護施設等におけるリスクマネジメント

講師：齋藤訓子(日本看護協会副会長)、北川明人(東京海上日動メディカルサービス)、山内桂子(東京海上日動メディカルサービス)

対象：日本看護協会会員(主に訪問看護事業所・介護施設等で働く方)

定員：60人

受講料：無料

申込方法：FAX または E-mail で、以下①～⑧を明記し送信。①件名(「第11回研修会参加申込」と明記)、②氏名(フリガナ)、③郵便番号、④住所、⑤電話番号、⑥日本看護協会会員番号(8桁)、⑦施設名、⑧職種(保助看准)

申込締切：10月31日(火)

※定員となり次第締切り(1施設あたり上限2名)、参加決定者には参加証を送付

申込・問い合わせ先：日本看護協会管理部業務1課

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

TEL:03-5778-8824(月～金10:00～17:00)

FAX:03-5778-5601

E-mail:baiseki@nurse.or.jp

案内

第18回日本臨床リハビリテーション心理研究会

日時：11月19日(日)9:50～15:45(受付9:30～)

会場：千葉県千葉リハビリテーションセンター・大ホール(千葉県緑区)

テーマ：障害をもつ子どもと家族の理解と支援

プログラム：基調講演「障害をもつ子どもと家族の理解と支援(仮)」日原信彦(横

浜りハビリテーションクリニック院長)／シンポジウム「関連職種からの問題提起と実践報告」／事例検討(グループワークと全体討論)

参加費: 医師・歯科医師 6000 円, その他 3000 円(当日支払)

申込方法: ホームページから, または下記 E-mail アドレスに名前, 所属, 職種, E-mail アドレス, 弁当(1000 円程度)希望の有無を記載し, 送信

※会場周辺は昼食をとれる店がほぼないので, 昼食持参か弁当を注文のこと

申込期限: 11 月 16 日(木)(当日参加も可)

申込・問い合わせ先: 研究会事務局
E-mail: rehablippsychology@gmail.com
https://rehablippsychology.jimdo.com/

案内

国際ケアリング学会主催 学術セミナー

■第 3 回(東京)

日時: 11 月 23 日(木・祝) 10:00 ~ 16:00

会場: 文京学院大学本郷キャンパス S 館 7 階 704 教室(東京都文京区)

内容: 「ケアリングの概念と実践への応用」筒井真優美(日本赤十字看護大学名誉教授・国際交流センター長)

参加費: 会員 3000 円, 非会員 6000 円(当日徴収)

定員: 140 名(先着順)

申込方法: E-mail(iscp131@gmail.com) または FAX(045-787-2747) で。E-mail は①参加者氏名 ②会員・非会員 ③所属 ④連絡先・電話番号を記入の上, タイトルを「第 3 回セミナー申し込み」として送信。FAX の場合は学会ホームページ(<http://www.caring-peace.net/index.html>)より申込用紙をダウンロードし, 必要事項を記入して送信。

申込締切: 11 月 17 日(金)

※昼食は各自準備すること

【共通】

学術セミナー担当: 田村由美(日本赤十字看護大学), 廣瀬幸美, 佐藤朝美(横浜市立大学)

案内

第 7 回日本在宅看護学会 学術集会

日時: 11 月 25 日(土)・26 日(日)

会場: 山梨県立大学看護学部池田キャンパス(山梨県甲府市)

テーマ: 在宅看護の原点, そしてさらなる挑戦—実践・研究・教育の場からの発信

プログラム: 学術集会長講演「地域包括ケアのなかで在宅看護を担う看護職の強みを活かす」佐藤悦子(山梨県立大学看護学部)／基調講演「山梨の訪問看護制度は 35 年前から始まった」川村佐和子(聖隷クリストファー大学大学院)／シンポジウム 1「多様化するニーズに応える訪問看護師の人材育成」柴田三奈子(ラビオン代表取締役, 山の上ナースステーション統括所長), 齋藤訓子(日本看護協会副会長), 小瀬文彰(全国新卒訪問看護師の会代表), 並木奈緒美(山梨県看護協会ゆき訪問看護ステーション所長)／シンポジウム 2「これからの在宅ケアは地域づくりから」新田國夫(全国在宅療養支援診療所連絡会会長, 日本在宅ケアアライアンス議長), 秋山正子(ケアーズ白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長, マギーズ東京センター長), 力石泉(豊郷病院総看護部長), 矢崎貴恵(山梨市役所保健師), 西尚子(療育・介護経験者)／教育講演 1「時代を見据えたこれからの在宅看護」佐藤美穂子(日本訪問看護財団常務理事)／教育講演 2「社会学の視点から地域包括ケアのこれからをみる」猪飼周平(一橋大学大学院)／教育セミナー 1「在宅における看取りのパス」茅根義和(東芝病院緩和ケア科部長)／教育セミナー 2「看護学分野における質的統合法」山浦晴男(情報工房代表, 千葉大学大学院看護学研究科特命教授)／教育セミナー 3「看護研究における倫理」西田幸典(昭和大学保健医療学部)／市民・多職種公開講座「母に先立たれた認知症になった父を世話した 10 年に及ぶ男の介護」盛田隆二(作家, 元情報誌「びあ」編集長)／上映会「愛しき命—訪問看護の現場から」渡邊理恵(鹿児島こども訪問看護ステーション所長)／他

参加費: 〈事前登録〉会員 8000 円, 非会員 9000 円, 大学院生 3000 円, 学部学生 1000 円(当日登録)会員 9000 円, 非会員

1 万円, 大学院生 3000 円, 学部学生 1000 円, 公開講座のみ参加: 看護職以外の専門職 1000 円, 一般無料
※学部学生, 大学院生は学生証のコピーが必要

事前登録締切: 10 月 10 日(火)

問い合わせ先: 学術集会事務局

〒400-0062 山梨県甲府市池田 1-6-1 山梨県立大学看護学部(佐藤研究室内)
E-mail: zaitaku7@yamanashi-ken.ac.jp
http://www.zaitakukango.com/shukai_7th/top.html

案内

看護史研究会 第 18 回 看護歴史教育セミナー

テーマ: 超高齢社会に看護は何かができるか—江戸時代の人々の生活と工夫に学ぶ
日時: 12 月 2 日(土) 10:00 ~ 15:30 (9:30 受付開始)

会場: 東京医科大学新宿キャンパス第一看護学科棟 101 教室(東京都新宿区)

※東京医科大学病院とは別のキャンパス
プログラム: 「看護歴史教育セミナーの主旨と経緯」名原壽子／研究報告「『老人必用養草』に学ぶ」中村節子(看護史研究会)／講演 1「江戸時代の庶民の病氣と薬」小曾戸洋(北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部部長)／「江戸時代の老いと看護」柳谷慶子(東北学院大学文学部歴史学科教授)／ほか

定員: 70 名(要事前申込)

参加費: 3000 円(学生・大学院生 1000 円)

※当日受付で支払い

申込方法: E-mail あるいははがきに, 参加者の氏名, 連絡先(電話番号または E-mail アドレス)を記載し, 問い合わせ先へ送付

問い合わせ先: 東京医科大学在宅看護学 春日広美

〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1

TEL: 03-3351-6141 (代表)

E-mail: kangoshikenkyukai@outlook.jp